

健康平和研究

17年第3章 再創造

精進 1 東京都 1

17年9月15日号より

(や=山田 学) [☆★☆精進★☆☆かの西郷隆盛は、世俗を超えた人物、といふところがあり、有名な発言を遺してをります。]

(西郷発言の現代風表現) [いのちも、要りません。名誉も、要りません。官位も、金も、要りません。さういふ人がゐると、扱ひに困るものです。しかし、かういふ、扱ひに困る人でなくては、困難や苦しみ悩みをともにわかちあひ、社会や国家についての大事業を成してゆくことは、かなはぬものです。]

(や) [わたし個人は、かういふ境地に、なかなか到達できませんが、少しづつでも、接近していけるやう、今後とも、精進してまいります。]

欧米文明を超えさせていただくには、〈健康平和な現実認識の学問と規範と祈りと芸術と総合保健〉が必須である、といふことも自覚しつつ。]

17.7.18より

(や)[☆★☆東京都★☆☆都議会公明党が、選挙協力の相手を、自民党から、都民ファーストの会に、変更した。そのことなどもあり、]

都議会にて、国会とは異質な、勢力図が生成しました。

そして築地・豊洲問題。アマゾン社やアリババ社などに象徴されるやう、商業のIT化も進行していくなか、縄文時代から海人族や山人族の伝統のある日本民族の、その生鮮市場中心の機能と信用を、どう再創造してゆくか。築地・豊洲問題をきっかけとして、むしろ知恵の出どころであるのかもしれない。]